

大人の 社会 見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんをご紹介します

九州化工 株式会社



田崎町1100
☎42-4121



ナビゲーター
九州化工株式会社
代表取締役社長
中屋省三さん
なやま しょうさう



国内有数のクエン酸メーカーである九州化工株式会社は、昭和35年9月、大阪市の親会社である昭和化工株式会社が、クエン酸の原料となるサツマイモの生産量が多い鹿屋で、クエン酸事業を拡充するために設立した企業です。今回は代表取締役社長の中屋省三さんに案内いただきました。

「工場には50人の従業員が働いており、年間売上高は12億円。現在、クエン酸に関連する製品を年間5,000トン生産して



います。当社のクエン酸製造は、昭和化工の精製技術と、県工業試験場（現・県工業技術センター）が開発した発酵技術とのコラボで生まれた製法です。

大隅産の良質なサツマイモから取れた澱粉^{でんぷん}かすを使用し、様々な工程を経てクエン酸が完成します。効率的な精製品だけでなく、設立時からの製法技術を改良し製品化しています。

販売先のほとんどが企業向けで、用途は飲食関係に5割、残りは洗浄剤や医薬品など、幅広く使われています。

工場内にも売店を設け、大隅

地域の一般のお客様向けにも「クエンサンC」、「爽やか^{さわやか}」などの商品の販売も行っています。

食品用にも工業用にも使われるクエン酸ですが、もともとは体の中にもある有機酸で、梅干やレモンにも含まれており、安全なものです。アスリート等からも愛飲されているほか、幅広い年齢層に親しまれています。

また、排水処理技術を通じて、澱粉工場、焼酎会社、畜産農家などと密接な協力関係を築き、環境改善にも貢献しています。

今後も当社の発酵の技術を継承し、発酵食品等の分野へ参入するなど、さらに事業を発展させていくことが目標です。

また、大隅の地にある企業として、農業者に肥料や飼料を幅広く提供するなど、さらに地域とのつながりを強め、地域に役立つような企業を目指したいと思っています。」